

を通し径を絞める伸縮... や燃り合わせなどの加... 工を施し、ケーブル導... 体用途などで電線メー... カーに販売している。



田宮工場の伸縮加工工程

### アルコニックス

## 香港でLiB材合弁

アルコニックス(社長・竹井正人氏)は19日、大日本印刷、現地企業と3社共同で香港にリチウムイオン電池(LiB)用材料の合弁会社を設立すると発表した。中期経営計画で示す電子材料分野の事業拡大の一環で、スマートフォンやタブレット、電気自動車向けに需要の増加が期待されるリチウムイオン電池材料の販売を強化する。特に消費量の多い中国や新興国での需要

・0%出資し、大日本今年6月に設立予定印刷が25.1%、中国で、代表にはアルコニックスの今川敏哉氏が就任する。  
アルコニックス 期末配当予想 20円に引上げ  
アルコニックスは19日、期末配当金を一株当たり20円(前回発表は同19円)に上方修正すると発表した。中間配当金同19円と合わせ年間配当金は同39円となる。

## 住友金属鉱山 材料事業本部を改組

電池材料と機能性材料を分割

備することともに、機能性材料事業の持続的な成長を実現するため、ライン管理と責任・権限の明確化、新事業の創出などを推進する。同社の電池材料事業は、13年に月産300ト体制でスタートしたが、積極的な増産投資を遂行し、現在は同4550ト体制の確立を備えている。今後急激な市場拡大が見込まれる中で競争優位性を最大限に生かす。機能性材料事業本部では、情報通信端末用SAWフィルターの新規開発など、新規事業の推進を図る。また、全社的な電池原料戦略の推進も担い、ニッケル・Sic(炭化ケイ素)基板、燃料電池電極用高純度酸化ニッケル粉、近赤外線吸収材料

## 春闘要求を一齐提出

住友電工のベアについて、基準内賃金の0.958%分となる。回答日は大手メーカーが3月13日、準大手は14日、中小・中堅は15日となっている。

電線大手メーカーの友電工と古河電工は3労働組合は19日、20千円、フジクラは3千19年春闘の要求を一円以上のベアスアップを要求。一時金は住友労働者賃金ベースで住友電工が5.1カ月分、古河電工とフジクラは5カ月分を求めた。ベアとを正式決定している。一時金ともに3労働組合は前回と同水準だった。

古河電工とフジクラは月分中心で要求する。友電工のベアについては、基準内賃金の0.958%分となる。回答日は大手メーカーが3月13日、準大手は14日、中小・中堅は15日となっている。

住友金属鉱山は、4月1日付で材料事業本部の組織改正を行い、電池材料事業本部と機能性材料事業本部に分割する。規模が拡大してきた電池材料事業を独立させることで同事業の戦略遂行体制を整



住友金属鉱山関係者

## 国産合金

## 長寿命金型を共同開発

### 19年度の実用化を目指す

超硬合金メーカーの国産合金(本社・東京)と、京都中央、社長・宮本誠氏は2019年度をめぐり、耐磨耗性や伸び特性に優れた高機能金型の実用化を目指している。開発は表面処理などの事業を展開する不二WPC(本社・相模原市南区、社長・下平英二氏)、神奈川県立産業技術総合研究所と共同。耐磨耗性・伸び特性の向上による

子吹き付け特性を改善させる照射処理を担当する。神奈川県立産業技術総合研究所は検査・分析や研究費の助成などで全体をバックアップしている。国産合金では超硬製品の開発に力を注いでおり、ニッケル・モリブデン・炭化ケイ素を用いた耐熱合金の事業化も併せて目指している。耐熱超硬合金はアルミ製造に用いる溶湯の注ぎ口などの用途に期待している。

「19年の銅・アルミ市況の現状と展望」でセミナー  
大阪非鉄金属商工協同組合(理事長・橋本健一)は18日、2019年の銅・アルミ市況の現状と展望をテーマに講演した。講師の藤原健二氏は「銅・アルミ市況の現状と展望」をテーマに講演した。藤原氏は「銅・アルミ市況の現状と展望」をテーマに講演した。藤原氏は「銅・アルミ市況の現状と展望」をテーマに講演した。



藤原健二氏

## 大阪非鉄金属商工協同組合



橋本健一氏

銅 5266、アルミ 1680  
19年の予想レンジ

以降は深刻な銅不足が64ドルから18年の184ドルへと上昇した(同)。リスの共通認識として19年アルミ価格は7千ドルを回復する。銅生産コストは15年は自動車の各分野の需要の底打ち後に上昇、18年要不調、アルミ価格は2019年7月からのスクはアルミ1680〜2000ドル、為替(ドル円)が100〜112円。